

【イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●企画展「丹沢のみどころ紹介 ～山頂からのながめ～」
開催期間：好評開催中～平成24年3月31日(土)まで
内容：神奈川県最高峰・蛭ヶ岳をはじめ、丹沢の山々のテッペンから見た風景の写真を展示。連なる峰々と富士山、輝く相模湾など雄大な景色お楽しみください。

●特別展「宮ヶ瀬ビジターセンター裏山の動物たち ～センサーカメラでばっちり～」
開催期間：好評開催中～平成24年3月31日(土)まで
内容：身近なところにもたくさん動物たちがすんでいます！登山道を歩く姿、季節をおって成長するシカの角の様子など動物たちの営みを紹介します。

県立秦野ビジターセンター

●登山道トーク(無料・申込不要)
神出鬼没!登山道で会いましょう!登山道や登山口周辺で丹沢の自然などをテーマに数分のミニトークを行います。見かけたらぜひご参加ください!
※場所・時間は担当のスタッフが当日決定します。
開催日：毎月第3土曜日

●スライドトーク(無料)
生きものや景色の写真・標本などを用いて、丹沢の自然を楽しくご紹介します。
開催日：毎週日曜日 13:30～14:00
・10名以上の場合はお問い合わせください。
・イベント等の都合により中止または日程変更する場合があります。

県立丹沢湖ビジターセンター

●ガイドウォーク(無料・申込不要)
旬の自然を観察しながら丹沢湖周辺を散策しませんか?ボランティアスタッフ「グループ・むしくさ」の方が案内・解説を行います。
開催日：3月11日(日) 10:00～12:00
*毎月第2日曜日に開催

●スライドトーク(無料・申込不要)
オリジナルのスライドで、丹沢の自然をご紹介します。
開催日：3月3日、20日、31日 11:30～12:00
*毎月第1・3・5土曜日・祝日に開催
*3月17日はイベント開催のためお休みします
・10名以上の場合はお問い合わせください。
・イベント等の都合により中止または日程変更する場合があります。

環境省箱根ビジターセンター

●特別展「箱根湯巡り」
内容：箱根温泉の特徴や魅力を分かりやすく紹介します。
開催期間：平成24年2月4日(土)～3月15日(木)
開場：箱根ビジターセンター多目的ホール

【ビジターセンター自然教室申込方法】
往復はがき、またはFAXに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号(FAXでお申し込みの方は返信先FAX番号)を記入して締切日必着で各ビジターセンターまでお送りください。詳細は締切後の返信にて連絡します。
※秦野ビジターセンターは往復はがきのみ受付。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1～3月第2木曜日(祝日開館)
年末年始(12/29～1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28～1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川11659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 9:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

2012

3月号
No.97

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

山のベンチの あんなこと こんなこと

宮ヶ瀬ビジターセンター

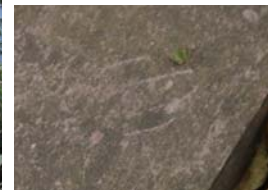
山を歩くと、休憩や食事、(たまにごろ寝)などにとて便利なベンチ。そのベンチをじっくり観察すると…様々な営みがみえてきます。その様子をいくつか紹介します。春の山歩きの間際にちょっとひと息ついて、ベンチのまわりをぜひ、注目してみてください。(鈴木)



①雄大な景色に面したベンチでは、しばし、至福のひとときを過ごすことができます。(犬越路にて)



②ベンチはまわりの森の様子を教えてくださいます。写真はブナの実が豊作だった年のベンチです。

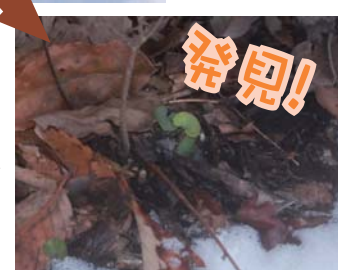


③こんな爪跡があることも!まわりを警戒していたのか…?ここからどこかへジャンプしたのか…?など、この動物の行動が想像されます。



⑤真冬、雪に埋もれて形も定かでなくなったベンチ。そっと下を覗いてみると…

⑥小さな草の葉がちよとんと佇んでいました。まるでベンチと雪にいだかれて寒さをしのいでいるようにも見えました。無事に春を迎えているといいですね。



④とある山頂のベンチです。ベンチの下だけに草やササ類が繁茂し、まわりには全く生えていません。多くの人が訪れる山では、人の踏みによって草木が生きていけず、裸地化が進んでいる場所があります。そのような所にあるベンチははからずも植物を守る働きをしています。

大倉尾根 ここも見どころ！

秦野ビジターセンター

秦野ビジターセンターから塔ノ岳へ登る大倉尾根は、四季を通じて多くの登山者が利用する、丹沢でも人気のルートです。なんと1日に延べ1,500人を越える方が歩く日もあります。登山者が多いとそれだけ登山道への影響が大きくなります。

そんな登山道と周辺の植生を保全するため、大倉尾根ではたくさんの工夫を見つけることができます。歩きにくかったり景観が悪かったりと感じるかもしれない階段や柵は、実は山を守るために重要な物なのです。大倉尾根では登山道整備にボランティアで関わって下さっている山の会の方もいらっしゃいます。

時にはそんな山を守る工夫を探しながら、山にやさしい登山を実践してみてください。(柳川)



登山者の踏圧と雨水の流れで削られ削られた登山道。元の地面の高さは頭上です。



(植樹と柵)動物に食べられない様に柵で囲い、ボランティアの協力で苗を植えました。植物が育つことで土壌は安定し、土壌の更なる流出を防ぎます。



(階段と丸太の土留め)階段や木道で踏圧による裸地化を防ぎ、土留めにより土壌の流出を防ぎます。土壌が安定すればそこに飛んできた種で植物が育ち、更に安定します。



(水切り)流れてくる雨水を分散させるため登山道に斜めにかかる丸太や溝。雨水による登山道の浸食を防ぎます。写真は水路にたまった落ち葉を掻き出している所です。

春の目覚め

丹沢湖ビジターセンター

植物も眠るって聞いたことがありますか？ 生物用語で「休眠」と言います。例えば樹木の場合、秋に夜の時間が長くなるのを感じると休眠に入ります。常緑樹は葉の生長を抑え、落葉樹は葉を落とし、枝の先に芽を付けたまま休眠に入ります。多くの樹木は夏から秋に翌春に出す芽を作りますが、冬の間は生長を抑えて、芽のまま厳しい冬を乗り越えます。これを冬芽(ふゆめ・とうが)と呼んでいます。

冬芽が休眠から目覚めるには、2つの条件が揃わないといけません。

その1 一定期間0℃～10℃の気温にさらされること。

その2 夜の時間が短くなり、気温が上がること。

さて、丹沢の山々をなす植物たち。今年はいつ休眠から目覚め花を咲かせ、葉をひろげるでしょうか？因みに、サクラの場合、神奈川県では平年よりも遅い3月30日頃と開花予想が出されています。

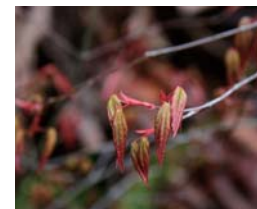
皆さんも開花・開葉予想をしながら、植物たちの春の目覚めを待ってみませんか？(長澤)



開花したマメザクラを訪れるピロッドツリアブ



葉より先に開花したダンコウバイ



開葉したイロハモミ



葉と花が同時に開いたミツバアケビ

冬山登山の西丹沢

西丹沢自然教室

丹沢の雪の降りかたには、毎年ほぼ同じパターンがあります。寒くなるのは12月からですが、実際に雪が多いのは2月末から3月初旬にかけてです。12月と1月は、雪を降らせる前線が日本海側にあるので太平洋側は雪が降りません。2月に入ると南岸低気圧がやってきます。これと寒波が合わさると雪が降り、積雪量が増えます。そして2～3月は雪がどんどん積もります。

今年は南岸低気圧が早く来ました。1月20日に降った雪は、檜洞丸山頂付近の登山道で約60cm、吹き溜まりでは100cmを超えました。登山するには多すぎます。コースタイムの倍近い時間がかかったり途中で引き返す人もいました。

これだけ雪が降ると登山道はすっぽりと隠れてしまい、木道も階段も、ベンチや標識も雪に埋まってしまします。

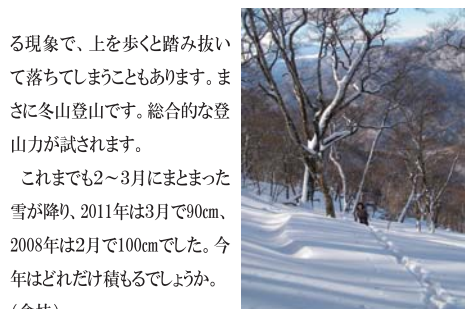


西丹沢自然教室の近くでも、20cmの積雪



左側に張り出している雪庇(熊笹/峰付近)

丹沢の雪は重く、膝より深い雪のラッセルには体力が必要です。また、風が通るところでは雪庇ができます。雪庇は風下側にひさしのようになり雪が伸びて積もる現象で、上を歩くと踏み抜いて落ちてしまうこともあります。まさに冬山登山です。総合的な登山力が試されます。



フナ林は美しいが、ラッセルは厳しい(テシロの頭付近)

これまでも2～3月にまとまった雪が降り、2011年は3月で90cm、2008年は2月で100cmでした。今年は何れだけ積もるでしょうか。(倉持)

病気の野生動物

箱根ビジターセンター

先月の2月3日、寒さ厳しい立春の頃。箱根で疥癬症にかかったタヌキを保護しました。

ここで言う「疥癬症」とは、「ヒゼンダニ」というダニに寄生され、激しいかゆみを引き起こす皮膚病のことで、かゆみのために体を激しく掻きむしり、ひどい脱毛状態になります。そして体毛が無くなった場合、寒さに耐えきれず衰弱していきます、最後には死んでしまいます。

しかも、疥癬症は他の動物へと感染する病気です。疥癬症の動物と接触したり、行動圏が重なったりすると、病気の原因であるヒゼンダニが新たに他の動物へ寄生し、同じ症状を発生させます。

疥癬症蔓延の原因の一つは野生動物への「餌付け」ではないかと考えています。餌を与えるという事で、普段は互いに触れ合わない動物達が一堂に会してしまい、そこから感染が広がってしまうのではないかと思います。そういった感染のきっかけを作ってしまう為にも「餌付けはしない」という、自然界に対する我々の思いやりが大切です。

疥癬症は治る病気です。早期発見、早期治療ができる程に元気に回復する可能性は高まります。「あれ？疥癬症かな？」という動物にピンときたら、すぐにお近くの野生動物保護行政や箱根ビジターセンター等に連絡をしてください。(加藤)



保護したタヌキ



早い段階の脱毛状態でした